

てすとるうむ

プレーヤ
システム

■DENON DP-790

■47,000

■規格

<フォノモーター部>

▶駆動方式：ダイレクトドライブ▶
モーター型式：ACサーボモーター
▶ターンテーブル：30cmアルミダイ
キャスト 1.1kg ▶ワウ・フラッタ
ー：0.03%以下 (W.R.M.S.) ▶SN
比：60dB以上

<トーンアーム部>

▶形式：スタティックバランス方式
▶針圧調整範囲：0~2.5g ▶カート
リッジ自重範囲：5~11g

<総合>

▶外形寸法：485(W)×405(D)×170
(H)mm ▶重量：9.6kg

ハンドリング
&
ヒヤリング▼



解説▶

デンオン、ダイレクト・ドライブ・プレーヤシリーズ中最もロープライスのハイCP機。

機構的には、デンオン独自の磁気記録再生方式による回転スピードの検出など、高級機に一步もひけをとらない装備。

ハウリング対策では、トーンアームの取付けに粘弾性体を使うなど細かい配慮がうかがえる。

カートリッジは同社のMM型、DL-8。

行方洋一

非常にスッキリまとめ上げたシステムである。DP-3000に類似したユニークなデザインを使い、高級感も持たせてくれるもので、音を聴いても変なくせがなく、S/Nの良い音が出てきた。シンプルなデザインのアームはチューニングもしやすく動きもスムーズだ。アームエレベーションの動きも良く、マニアの心を上手くつかまえているシステムに感じた。なにしろプロ用機器を製作しているメーカーらしさが充分うかがえるもの

で、使い勝手も抜群に良いものだ。しいていえばストロボを外に出してもらいたい感じだ。



和田則彦

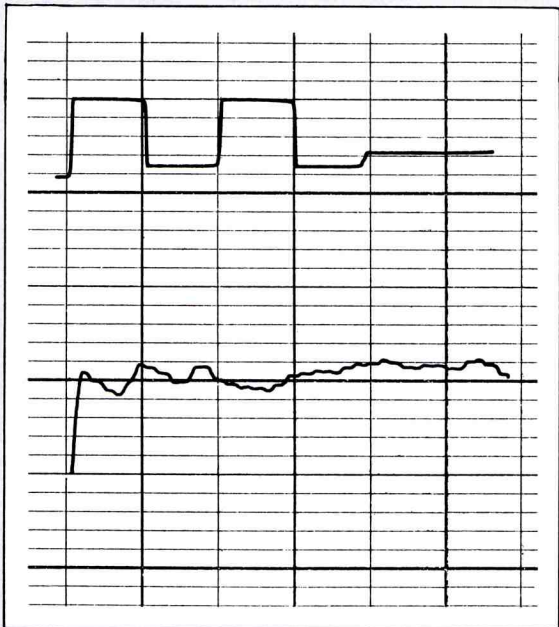
さすがに回転精度優秀である。ワウは全くといって良いほど聴けず、ごくわずかなフラッタが辛うじて検知される程度である。

強打(ピアノ)で隣溝のゴーストがハッキリ出るのはS/Nの良さを物語っている。

アームリフター昇降の垂直度の正確さもよい。

大き目の白木ボードの仕上げもすぐれており、ノックテストに

TEST



■動負荷特性

カッティング・レベル

: -24dB, 0dB, +18dB

基準カッティング・レベル

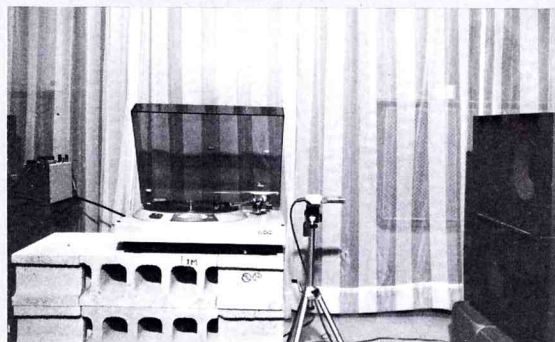
: (0 dB) 50mm/sec

回転数の変化量: 0.05%/div

てすとるうむ プレーヤシステム

■DENON

■DP-790



DATA▶

■WOW.....0.035%

■FLUTTER.....0.017%

(聴感補正なし、実効値)

使用レコード

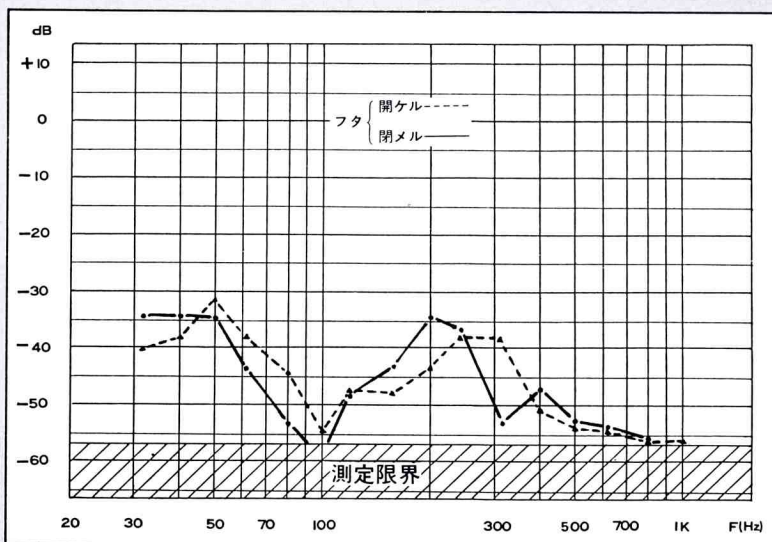
東芝EMI LF-1003

JIS C-5507

も縦横ともに強かった。縦ノックのわずかな重低域共振はサブソニック・フィルタで退治できる性質のものである。

モーターのスイッチもフェザー・タッチのワン・タッチでよい。センター・スピンドルのトンガリはレーベルをいためるので感心しないのと、電源表示ランプもストロボ・ランプもなく、小さく見にくいレーベルサイズのシートだけなのはあまりにも簡略化のやり過ぎではなからうか。

とはいうものの、性能面では老舗の貫録充分のCP優秀品である。



■音圧レスポンス

使用カートリッジ: テクニクス

205C/II L

測定針圧: 1.5 g

基準出力レベル (0 dB)

: 50mm/sec/1 kHz

音圧レベル (プレーヤの側面)

: 95dB

SP~プレーヤ(センタースピンドル)

: 1 m